

巨大地震発生!

もし、ひとりぼっち だったら...



日本でたびたび起きている災害の一つ、「地震」。今年だけでも、4月の熊本県、10月の鳥取県、11月の福島県などで大きな地震があったね。

地震は、いつ、どこで起きるかわからない。家や学校にいないときだと、すぐには助けに来てもらえないこともある。だから、そばに大人がいなくても、自分の身を守るようになっておこう。

問い合わせ 防災課 ☎(82)9621

24 ここにいたらどうするの?

コンビニやスーパー

コンビニでは、おでんなどの熱い物があるレジの近くやガラスがある壁際から離れた**店内の真ん中付近が安全**だよ。コンビニでは陳列棚の下の方に重いものを置くから、落ちてくるのは軽い商品が多いんだ。スーパーでは、重い商品も棚の上の方に置いてある場合があるから、陳列棚から離れて**壁際や大きな柱に寄り**ようしよう。

電車や駅のホーム

電車は、**揺れを感じると急停止**するよ。網棚から落ちてくる物に注意し、つり革や手すりにつかまろう。座っているときは、足を踏ん張り前かがみになって、かばんなどで頭を守ろう。駅では、出入りする人で**改札口はパニック**になるよ。揺れがおさまるまで近くの柱に寄り、落ちてくる看板などに注意しよう。

エレベーター

全ての階のボタンを押して、停止した階で外に出よう。閉じ込められたら、停電のときでもつながるインターホンで助けを求められるよ。**ドアをこじ開けたりは絶対にしない**ように。

映画館など

閉ざされた部屋に多くの人がいるので、パニックになりがち。慌てずに、**座席の間にうずくまって頭を守ろう**。頭の上に大きな照明やスピーカーがある場合は、急いで離れること。**映画が始まる前の非常時の案内**をきちんと見ておこう。



×「建物の外にすぐ逃げ出す」

上からいろんな物が落ちてくるし、地震に気が付かないで走っている車にひかれる危険があるんだ。

これは間違い!

いざというときの「公衆電話」

街中のさまざまな場所にある公衆電話。最近は携帯電話を持つ人が増えて使う人は少なくなったけど、大きな災害のときには、とても役に立つんだ。

ココがすごい!

- ◇大きな災害のときには無料で使える
- ◇停電したときにも電話をかけることができる
- ◇電話が混み合っているとき、携帯電話より優先的につながる



知らないまちでの大地震

近くの商店などで、地元の人に避難場所や避難所を聞こう。警察官や消防士の誘導があれば、それに従えば大丈夫だよ。

- ◇避難場所...身を守るために一時的に避難する場所。大きな公園や広場など
- ◇避難所...火災などで家を失った人たちが、避難生活をする場所。学校や体育館など



家族と決めよう「約束の場所」

もし通学路で地震が起きた場合に、「学校へ行くか」・「自宅へ行くか」を、家族で話し合っておくようしよう。

親が仕事でいなくて、一人で家にいるときだってあるよね。そんな場合も、仲のいい「近所の人の家」や「友達の家」に行くなど、周りの人と助け合うことも大切だよ。



秦野市防災アドバイザー 伊藤 睦さん(55歳)

はだのっ子 クイズ

災害対策について質問! いくつ正解できるかな? 答えは裏面にあるよ。

Q1 「災害時帰宅支援ステーション」って何?

- ① 道路状況などを教えてくれる
- ② 自宅の近くへ送り届けてくれるバスがある
- ③ 帰れない人専用の宿泊施設

Q2 「南海トラフ巨大地震」の被害予測(死者数)は?

- ① 約5000人
- ② 約16万7000人
- ③ 約32万3000人



Q3 路上で地震が起きたら、どこに逃げるのが一番安全?

- ① コンビニ
- ② ガソリンスタンド
- ③ 駐車場



みんなに知ってほしい 地域の推し顔

みんなが、いつもありがとうと言いたい近所の人、仕事や趣味などですごいことをしている人など、地域にいる「自慢の人」を紹介してもらいました。

みなみしょう 南小



見守ってくれる大先輩に感謝

私たちが紹介するのは、同じ南小を卒業した大先輩の栗原正行さん(75歳・緑町)です。栗原さんは、毎朝、私たちが登校するときに、通学路や学校の門の前に立って私たちを見守ってくれています。もう9年ほど続けているそうです。その他にも、南小や近くの幼稚園、保育園に花の苗などをプレゼントしてくれています。今回も、「6年生が卒業する時期に合わせてきれいに咲くように」と私たちに菜の花の苗をくださりました。



栗原さんの心強い見守り

栗原さんは、私たちが元気に過ごしていたり、明るくあいさつしたりしているとうれしいと言っていました。私たちが栗原さんと話をすると元気をもらえます。

いつも私たちの安全を見守ってくれる栗原さんに感謝しています!



(後列左から) 安谷屋 みどりさん
飯田 悠太さん 瀧 光さん
(前列左から) 添田 理子さん 吉田 悠希さん

きたしょう 北小

世界に誇れるレーサーがいるんです



レースで奮闘する小池田さん



私たちの推し顔は、オフロードバイクレーサーの小池田猛さん(39歳・羽根)です。小池田さんは、北

小の6年生の子のお父さんです。4歳からバイクに乗っているそうで、その実力は、全日本選手権で3度チャンピオンに輝いたほどです。さらにアメリカの国際的な大会でも好成績を残しています。小池田さんは「他の誰よりも一番努力している人が勝ちます。世界中にそういう努力をしているモンスター(人)がたくさんいるので、その戦いはやりがいがあります」と語ってくれました。北地区には、世界に誇れる方がいます。これからも世界中でのご活躍を楽しみにしています。



しど あかねさん 小池田 冬乃さん 浅沼 美優さん

ほんちょうしょう 本町小

いつもありがとう。チーム見守り隊



本町小の地域には、私たちの登下校を見守ってくださる多くの方々がいまいます。今回小室健一さん(47歳・水神町)、佐野孝一さん(78歳・桜町)、森谷富造さん(90歳・文京町)をご紹介します。始めたきっかけをそれぞれ伺うと、みなさん子供たちが事故に巻き込まれないようにと見守ってくれているそうです。また、「子供たちがあいさつを進んでしてくれてうれしい、元気が



笑顔で見守る小室さん(左)と森谷さん(右)



佐野さん(右)にインタビューする成川 遼大さん(左)

がもらえる」などおっしゃっていました。特に私たちが印象に残ったのは、「日本一の笑顔をもたらしている」とおっしゃってくださったことです。これからも私たちは日本一の笑顔であいさつを交わりたいです。



(後列左から) 塩川 陽菜さん 渡邊 帆風さん
(前列左から) 山本 海佑さん 古川 諒さん 和田 美優さん

ひがししょう 東小

お米作りのエキスパート



稲づくりを教える湯山さん



私たち東小の5年生は、毎年「あずまの里稲づくり体験」を行っています。その中で、地元の湯山良男さん(81歳・蓑毛)に、種まきから精米をするまで、たくさんのお話を教えていただきました。例えば、稲がしっかり育つための種のまき方など、とても分かりやすかったです。湯山さん以外の方にもいろいろなことを教えてもらい、おいしいお米を作ることができました。

精米の場にも多くの方がかけつけてくれました。その中心には、い

つも湯山さんがいられました。収穫したお米を、実際にキャンプで食べると、「何人もの人との協力でできたお米なんだ」と、改めて実感しました。私たち東小の5年生は、とても貴重な経験ができることに感謝しています。



小泉 香乃さん 大野 理紗さん

Q1 「災害時帰宅支援ステーション」って何?

正解は...①道路状況などを教えてくれる

電車などが使えず歩いて帰る人たちのために、一部のコンビニやガソリンスタンドなどで、通行可能な道路などを教えてくれるんだ。



入口などに専用のステッカーが貼られているのが目印。水もくれるよ。

はだのっ子クイズ

せいはいはっぴょう 正解発表!!

Q2

「南海トラフ巨大地震」の被害予測(死者数)は?

正解は...③最大約32万3000人

ちなみに、平成23年に発生した東日本大震災の死者数は1万8000人。南海トラフ巨大地震と同じく、いつか来る「首都直下地震」の被害予測は、最大2万3000人だよ。



秦野市も含めて、とても広い範囲で揺れる大地震なんだ。

Q3

路上で地震が起きたら、どこに逃げるのが一番安全?

正解は...②ガソリンスタンド

危険な物質を扱っているから、火災や地震に強いんだ。屋根は軽くて倒れにくいし、タンクは地中深くにあるから安全だよ。



過去の大地震では、周りの家が火災で全焼しても、ほとんど無傷だったのよ。